設計・計画部門

伊藤（いとう）　良（りょう）

生年月日　1981年６月愛知県生まれ
最終学歴　2008年三重大学大学院工学研究科建築学専攻修士課程修了
業務経歴　2008年㈱東畑建築事務所入社
現在、本社オフィス東京第１設計室技師

●担当した主なプロジェクト
2008年　東上野６丁目オフィスビル
2009年　法務省網走刑務所
2009年　法務省熊谷拘置所
2010年　法務省広島刑務所
2011年　国土地理院改修
2011年　川崎法務庁舎改修
2011年　栃木法務庁舎改修
2012年　さいたま市栄小学校
2013年　大田区立東六郷小学校
2014年　多摩大学T-Studio
2014年　多摩大学既存トイレ改修
2014年　江東区有明小学校増築棟
2014年　北区なでしこ小学校
2015年　S警察署

■青年技術者のことば

私は設計作業の中で、その場に相応しい社会と繋がる建築のかたちを可能な限り模索することを一番大事にしている。この作業は一人で行うのではなく、クライアントやユーザー、建築に携わるエンジニアとの対話を通して行うようにしている。彼らの発する情熱的な言葉の中には、建築と社会を飛躍的に繋ぐヒントがたくさん隠れている。実際、クライアントやエンジニアとの対話を通して、私が思いもしなかったような考えが飛び込んで来ることがある。たとえそれが今までの作業を覆すものであったとしても、その考え方に舵を切った瞬間、それまでどこか腑に落ちなかった建築が、社会に応える建築のかたちへと劇的な変化を遂げる。

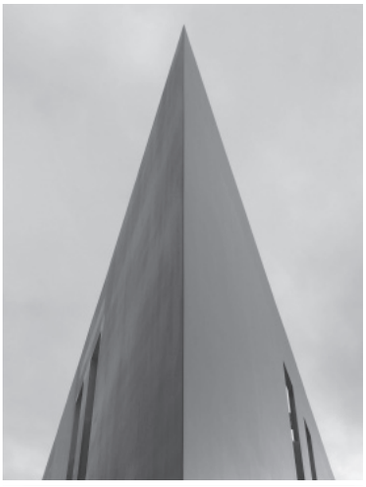
建築は設計者の頭の中で完結するものではなく、その建築に関わる人や社会との対話の中から建築のかたちが生れるものだと私は強く思っており、その対話を楽しむことにしている。

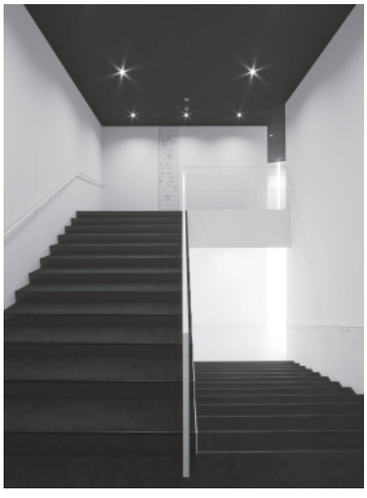
■すいせん者

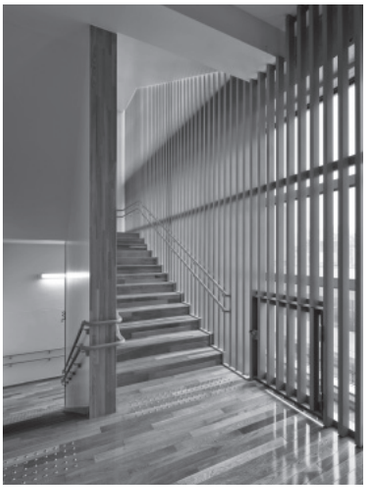
三谷直樹
㈱東畑建築事務所
本社オフィス東京
第１設計室部長

多摩大学T-Studio

創立25周年を迎える多摩大学記念事業の一環として、教育のさらなる充実と社会に開かれた大学を目指し、次代に向かうべく、多摩という地域性（ローカリティー）に深く根を下ろしながら、グローバルな視界を拓く「多摩グローカリティー（ローカリティー×グローバリティー）」を実践する受け皿としての場【T-Studio】をキャンパスの中心に計画した。１階は学生や地域住民、有識者が日常的に交流し、互いの経験や知識を交換出来るフラットな場とし、２階【CREATIVE COMMONS】ではより高度な活動（クラスター）を実践し発信する公共性の高いアカデミックな場を鋼板により実現した。





さいたま市立栄小学校

本計画は、東日本大震災により被害を受けた校舎の建て替え計画である。「環境発信地をめざして（さくら草とホタルの里）」を合言葉に環境教育の実践に取り組む栄小にふさわしい学び舎として、「風・光・緑とともに児童の活動が感じられる小学校」をコンセプトに計画した。自然豊かな周辺環境を上手く取り入れながら、明るく温かみを感じることができる小学校となるよう、既存建物を含め３列にリニアに並ぶ校舎の間に中庭や屋外テラスを設けることで、周辺の貝塚やグラウンドとつながり、風が抜け、光が差し込み、緑を感じる計画とした。